

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
092045 佐野市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	核家族化やひとり親家庭の増加、高齢化等により、学校支援ボランティアの確保が難しい状況にあるため、子どもたちが地域住民とともに勉強やスポーツ・文化活動、交流活動をする機会が減少している。	学校支援ボランティアの活動などの学校と地域の連携が円滑に進められるよう、市内11校(継続2校、新規9校)に学校地域応援団(地域学校協働本部)を設置した。	学校と地域の連携が円滑に進められるよう、市内18校(継続11校、新規7校)に学校地域応援団(地域学校協働本部)を設置したうえで、学校支援ボランティアを確保し、学校に対する多様な協力活動を活性化させる。	学校支援ボランティアを確保することで、子どもたちが地域住民と交流する機会が増え、多様な体験活動を体験する。	学校地域応援団を設置した学校の学校支援ボランティア数(一校一人以上の増加を目指す)	1,084	人	1,100		
092045 佐野市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	学校以外の場で、体験活動や地域を知る活動など多様な体験活動を行う機会が減少している。	放課後子ども教室を週1回程度実施し、地域資源(もの・歴史・お年寄りの経験等)を活用した多様な体験活動を実施している。	放課後子ども教室を週1回程度実施し、地域資源を活用した多様な体験活動を実施する。また、各放課後子ども教室において交流研修会を開催し、体験活動についてのノウハウを共有することで、活動の充実を図る。	地域に愛着を持つ子どもが増え、地域のつながりが強化される。	地域に興味を持った子どもの割合(参加児童に対するアンケート)	71	%	80		